

さいたま市長メッセージ（令和4年3月4日）

さいたま市長の清水勇人です。

本市の新規陽性者は、3月3日までの1週間で6,073人となり、市民の皆様のご協力もあり、前の週から、およそ1割減少しました。

年明けから続いていた新規陽性者の増加は、ようやく減少傾向へ転じました。昨年の夏とは異なり、減少の動きは緩やかで、しばらくの間、新規陽性者数は、高い水準で推移していくことが予想されます。

本日、埼玉県全域に対する、まん延防止等重点措置の適用期間が、3月21日まで延長されました。

感染拡大防止には、皆様お一人おひとりが、強く意識して感染予防策に取り組むことが、なによりも大切です。

これから年度末に向けて、多くの人が集まる機会が増えてまいります。これまでも、このような機会をきっかけに感染が拡大してまいりました。少しでも、発熱や倦怠感などの体調不良がみられる場合は、外出を控え、人との接触を避けていただくことを、ぜひともお願いいたします。

本市は、新規陽性者をさらに減少させるため、感染予防や重症化予防に効果があるワクチンの3回目接種に全力で取り組んでいます。

約460か所の市内の医療機関による個別接種のほか、各区に1か所の集団接種会場を設置しています。接種を希望する方は、ファイザー、モデルナのいずれかに関わらず、早めの接種をお願いします。

また、5歳から11歳の小児のワクチン接種も開始しています。市ホーム

ページなどで、ワクチンの効果と安全性や副反応についてお知らせを
しますので、十分に理解した上で、接種をご検討ください。